

TOPIC 10  
1  
10  
マイナンバーカードの普及につなげる

郵便局でマイナンバーカード申請

1月10日から町内の3郵便局でマイナンバーカードの申請をサポートする取り組みが始まりました。

郵便局の職員がカードに使用する顔写真の撮影や申請書の作成などをサポートするもので、カードは後日、役場の窓口で受け取る仕組みです。

白糠郵便局の蔵本博幸局長は「町内での普及率が少しでも上がれば」と話し「手続きは10分程度。手ぶらで申請できますので、ぜひご利用ください」と呼び掛けていました。申請サポートは3月31日までの予定。



マイナンバーカードの申請に対応する白糠郵便局員



販売開始10分で「お魚の福袋」は完売しました

TOPIC 7  
1  
3  
新春恒例の初売り  
長蛇の列

道の駅しらぬか恋問「初売り」

新春恒例、道の駅しらぬか恋問の「初売り」が同恋問館で行われました。白糠漁協直売所の「お魚の福袋」や町振興公社の「恋問館お楽しみ袋」、白糠酪恵舎の「チーズセット」などを求めて、開店前から100人を超える長蛇の列ができていました。

発泡スチロール箱の「お魚の福袋」（限定250袋）は、1割の25箱に毛ガニが入っていることから人気商品。帯広市から訪れた男性は「6箱買ったので毛ガニが入っていれば」と笑顔で買い求めていました。



好タイムを目指しプールに飛び込む参加者

TOPIC 11  
1  
11  
自己ベスト目指し  
全力で力泳

サンアリーナしらぬか水泳記録会

水泳の普及や体力の向上を目的とした「第2回サンアリーナしらぬか水泳記録会」が温水プールで開催されました。

記録会には22人が参加。ビート板キックや自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、個人メドレーの6種目で自己ベストを目指し、力強い泳ぎを見せました。

200m個人メドレーと100m自由形で1位となった山内光葵さん（白糠学園8年）は「緊張したけれど、自己ベストで1位を取れてうれしい」と喜んでいました。

TOPIC 8  
1  
4  
白糠町の飛躍誓う

令和5年新年交礼会

町主催の新年交礼会が社会福祉センターで開かれ、各界の代表者約100人が新年の飛躍を誓いました。

棚野孝夫町長は「獲るだけ出荷するだけの一次産業から脱却し、ここで良いものを作り加工して打って出る時代を迎えている」と述べ、「食料とエネルギーの自給率を上げるとともに、まちづくりの3本柱である『第一次産業の再興と振興』『町民の健康づくり』『教育』を連携させながら、新たなまちづくりに向けて一歩ずつ前進していきたい」と意欲を示しました。



高橋隆助商工会長（右）の乾杯で、参加者は和やかに歓談

TOPIC 12  
1  
15  
町内で働く人を増やす

合同企業説明会

地元企業の魅力を知ってもらおうと「白糠人の白糠人による白糠人のための雇用促進 有志の会」が白糠振興センターで合同企業説明会を開催しました。

説明会では、建設業や林産業など6社が仕事内容や企業の特徴、従業員への支援制度などを説明しました。

参加企業の高坂林業株式会社の高坂英己社長は「こうした説明会を通して、白糠で働きたいという人が増えてくれればうれしいです」と話していました。

2月19日（日）にも同会場で説明会を開催します。



仕事内容などを説明する高坂社長（左）



分列行進をする団員の様子

TOPIC 9  
1  
8  
防火防災の決意新たに

白糠消防団・白糠支署新年出初式

白糠消防団（桐原千里団長、団員95人）と釧路市西消防署白糠支署（村山隆一支署長）による「新年出初式」が白糠消防庁舎で開かれました。

出初式では、団員による分列行進や服装点検、機械器具点検のほか、長年にわたり消防活動に尽力した消防団員に対し、表彰状の授与が行われました。

桐原団長は「火を出さない、出させないを念頭に、無火災を目指して活動していく」と訓示を述べ、防火防災へ決意を新たにしていました。